

2017-18 年度ガバナーメッセージ

国際ロータリー第 2820 地区

2016-17 年度 ガバナー

保延 輝文 (石岡)

皆様には日頃よりロータリー活動にご尽力賜りましてありがとうございます。私はガバナーノミニエの時期にロータリーの概要を見つめ、ガバナーエレクトの時には各委員会に参加させて頂き、ロータリーの奥深さを再認識させられました。地区の各委員会の皆様の熱意ある姿を拝見し第 2820 地区の底力を強く感じました。ガバナーエレクトになった頃はまだ 1 年あると思っておりましたが、実際はあっという間の 1 年間でした。

新年度イアン H. S. ライズリー R I 会長は、R I 会長テーマを「ロータリー：変化をもたらす」とされました。ロータリーは長い歴史の中で徐々に成長し、会員と地域社会の変わり行くニーズに対応しながら大きく変わってまいりました。そして「ロータリーとはなんですか」と言う問いに、その答えを R I 会長テーマにしたということだと考えます。

そして保延年度の地区スローガンは「未来へチャレンジ」と致しました。現在地区では会員の減少や高齢化が深刻になっております。これを打破するには、青少年の育成、会員の増強を考えなければなりません。私は今年度、特にクラブへのサポート、公共へのイメージアップ、そして青少年の育成に力を注いで参りたいと考えております。ただこの三本柱と平行して一番大切なことは、まずロータリーの会員が「ロータリーとは何か」と言うことを常に自問し考える姿勢だと思います。新会員を受け入れるクラブの会員が意味を知らなければ、それは軟弱な土台に建物を建てるようなものになってしまいます。具体的なプランとしては、入会 3 年未満の会員の皆様に「ロータリーとはなにか」と言うテーマで真剣に学んで頂ける場を設けたいと思っております。磐石な土台を造ることにより、いかなる変革及びチャレンジを進めたとしても、輝かしい未来へ向かうことが出来ると信じております。時には急がば回れの状況もあるかもしれませんが、必ずジャブのように効いてくると思います。奉仕活動は自己研鑽の場でもあります。例会出席と共にロータリー活動を一生懸命楽しんでください。必ず人生において実りある宝物を得ると確信しております。その各々の満足感が、ひいては明るく力強い質の高いクラブを形成することになるのです。

最後になりますが、皆様のご協力とご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。